焼津市
総合計画に関する市民意識調査
調査結果報告書

平成 31 年３月

焼　津　市

■目次

１　調査概要 1

２　調査結果 5

【回答者の基本属性について】 5

属性１：性別 5
属性２：年齢 5
属性３：子どもの有無 6
属性４：職業 7
属性５：勤務地 8
属性６：居住地区 9
属性７：居住形態 10

【焼津市の住みやすさについて】 11

（１）焼津市が好きか 11
（２）焼津市の暮らしやすさ 11
（３）焼津市に住み続けたいか 12
（４）行政サービスの満足度 12
（５）焼津市は安心して子どもを生み育てることができるまちだと思うか 13
（６）市の情報を得る手段 14
（７）必要な市の情報は十分得られていると思うか 15
（８）市民の意見は行政に届きやすいと思うか 15
（９）焼津市の都市環境等の満足度 16

【自分や家族・地域の状況やそれに対する考え方などについて】 21

(10) 心身共に健康だと思うか 21
(11) 日頃健康のために心掛けていることはあるか 22
(12) かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持っているか 23
(13) かかりつけ医・かかりつけ歯科医の所在地 24
(14) 医療機関は身近に整っていると思うか 25
(15) 文化・芸術に関する活動の有無 25
(16) スポーツの頻度 26
(17) 市内の道路は徒歩や自転車で安心して快適に通行できると思うか 26
(18) 生活道路は車やバイクで円滑に通行できると思うか 27
(19) 市内のバスは便利だと思うか 27
(20) 市内のバスが便利ではないと思う理由 28

（21）民間路線バス・自主運行バスの利用頻度 29
（22）身近に花や緑が多いと思うか 30
（23）市内の公園の満足度 30
（24）身近な商店街ににぎわいを感じるか 31
（25）まちづくり活動への参加 31
（26）まわりに認められ尊重されていると思うか 32
（27）「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への同調 32
（28）男女共同参画情報誌Ａしおかぜを読んだことがあるか 33
（29）男女共同参画社会の形成の必要性が理解できたか 33
（30）焼津市は防災・減災のまちづくりに取り組んでいると感じるか 34
（31）防災・減災のまちづくりのために市が重点的に取り組むべきこと 35
（32）災害に対して備えていること 36

【自由意見】 37

（33）自由意見 37

３　資料編 103

【クロス集計表】 103

焼津市 総合計画に関する市民意識調査 調査票 135

1　調査概要

１　調査目的

第６次焼津市総合計画に掲載している施策の成果を把握することにより、今後の施策の検討資料とすることを目的としています。

２　調査内容

１　対象者の基本属性
２　焼津市の住みやすさについて
３　自分や家族・地域の状況やそれに対する考え方などについて

３　調査設計

調査主体：焼津市
調査対象：平成 29 年４月１日より継続して居住している焼津市在住の 18 歳以上の男女
標 本 数：3,000 人
抽出方法：住民基本台帳に登録している者及び外国人登録をしている者で、永住者又は特別永住者として焼津市の住民基本台帳に登録している者から等間隔無作為抽出
調査方法：郵送配布・郵送回収
調査期間：平成 31 年１月 11 日～平成 31 年２月４日
調査機関：（株）サーベイリサーチセンター静岡事務所

４　回収状況

発送数	有効回収数	有効回答率
3,000 票	1,859 票	62.0%

※有効回収数とは、回収数 1,866 票のうち、無効票（白票）７票を除いた数のことです。

５　報告書を見る際の注意事項

・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出しました。そのため、百分率の合計が 100%にならないことがあります。
・百分率は小数点第２位を四捨五入しているため、グラフにおける比率の合計は、コメントにおける比率の合計と一致しないことがあります。
・質問の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答比率の合計は 100%を上回ります。

６　性年代の補正

今回の市民意識調査回収結果については、焼津市全体の「性年代」別人口（母集団）からの偏りを補正計算して調査結果としています。

焼津市全体の「性年代」別人口（※１）		回収		補正後
		数	割合（%）	割合（%）
男性 10 代（18・19 歳）	1,389	15	1.8	2.4
男性 20 代	6,823	57	6.9	11.8
男性 30 代	7,754	66	7.9	13.4
男性 40 代	10,432	131	15.8	18.1
男性 50 代	9,109	150	18.1	15.8
男性 60 歳～64 歳	4,197	94	11.3	7.3
男性 65 歳～69 歳	5,058	116	14.0	8.8
男性 70 代以上	12,982	202	24.3	22.5
男性合計	57,744	831	100.0	100.0
女性 10 代（18・19 歳）	1,335	18	1.8	2.2
女性 20 代	6,322	73	7.2	10.4
女性 30 代	7,492	106	10.4	12.4
女性 40 代	9,949	181	17.8	16.4
女性 50 代	8,704	167	16.4	14.4
女性 60 歳～64 歳	4,368	109	10.7	7.2
女性 65 歳～69 歳	5,417	127	12.5	8.9
女性 70 代以上	17,051	236	23.2	28.1
女性合計	60,638	1,017	100.0	100.0
無回答（※２）		11		
総計	118,382	1,859		

※１…平成 30 年 12 月 31 日現在の住民基本台帳人口です。

※２…「無回答」は、性別あるいは年代を尋ねる設問に回答していない方の数を表します。

7　調査の精度

この調査は、単純無作為抽出により対象者を定めたもので、標本誤差は以下の式で近似できます。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

σ：標本誤差
N：母集団
n：標本の大きさ
P：回答比率

変数κは信頼率により決まり、信頼率90%ならば1.64とされます。

回答者総数（1,859人）を100%とする場合の質問で、信頼率を90%とすると、各回答比率別の標本誤差は以下の通りとなります。

回答比率	標本誤差
50%	±1.89%
60%または40%	±1.85%
70%または30%	±1.73%
80%または20%	±1.51%
90%または10%	±1.13%

これは，例えば今回の調査においてある設問を単純集計した場合、その設問の「A」という回答が全体の50%であったとすれば、今回の調査の母集団（18歳以上の焼津市民全体：118,382人）に同じ設問をしても、統計学的には90%の確率で「A」の割合は，50±1.89%の範囲内となり、精度は確保されていると言えます。